

部長会議付議事案書（令和 8 年 7 月 2 日）

No. (I) 事案名		(2) 提案趣旨（要点をまとめて簡潔に）
報告 4	地下水モニタリング事業について	
提案課・報告者		資料
環境共生課 谷 芳生		有
地下水の保全及び適正な利活用を進めるためには、地下水位、水質、地下構造及び地下水の流動状況等を継続的に把握し、科学的知見に基づく地下水マネジメントを進めることが重要です。 このため、本市では、水源環境保全・再生市町村補助金を活用し、地下水モニタリング事業として、地質や地下水位等の基礎データを収集し、「はだの水循環モデル」（以下「水循環モデル」）の構築及び更新を進めています。 このたび、かながわ水源環境保全・再生施策大綱が令和8年度に終了年度を迎える中、第4期実行5か年計画に基づく当該事業について、地下構造等の状況を可視化し、地下水の保全及び適正な利活用に係る関係施策の参考としてもらうため、庁内で共有するものです。		

(3) 概要	(4) 経過（いつ・何を（が）・どうしたか）		
1 事業の位置づけ 本事業は、神奈川県「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」及び実行5か年計画に基づく地下水保全対策として、神奈川県水源環境保全・再生市町村補助金を活用して実施しているものです。 2 第4期における取組 第4期実行5か年計画に基づき、市内3地点で長尺ボーリング調査を実施し、取得した地質及び地下水位データを過年度の調査データと併せて水循環モデルに反映しました。 3 第4期の取組の成果 調査結果を反映したことにより、盆地西部の堀山下付近の地質構造モデルを更新するとともに、深部帯水層における地下水流線図を更新しました。 4 調査結果の共有及び活用 得られた科学的見地を全庁的に共有し、地下水総合保全管理計画等に反映するとともに、企業等による地下水利用の相談、災害時における地下水活用、地下水の保全などを検討する際の基礎資料として活用します。	いつ	何を（が）	どうしたか（主体・内容）
	平成19年度～令和8年度	かながわ水源環境保全・再生施策大綱	県が20年間を計画期間とする水源環境保全・再生事業を開始
	平成19年度～平成23年度	第1期実行5か年計画	神奈川県水源環境保全・再生市町村補助金を活用した地下水保全対策を開始
	平成22年度	3次元地下構造立体モデル	GISを活用して地下構造をモデル化
	平成23年度	第2期地下水総合保全管理計画	地下水の保全及び利活用に係る計画を策定
	平成24年度～平成28年度	第2期実行5か年計画	県計画に基づく地下水保全対策を継続
	令和元年度	地下構造調査	産業利用促進ゾーン（戸川）における長尺ボーリング調査 微動アレイ探査（市内5地点）
	令和3年度	はだの水循環モデルの更新	地下水賦存量を約7億5千万トンと推計
	令和3年度	第3期地下水総合保全管理計画	地下水の保全及び利活用に係る計画を策定
	令和4年度～令和8年度	第4期実行5か年計画	県計画に基づき地下水モニタリング事業を実施

(5) 今後の進め方（いつ・どうするか）		
いつ	どうするか	
令和8年7月～令和9年2月	長尺ボーリング調査 たての台東公園（立野台2丁目）において、地下水を蓄える地層の深さ及び連続性並びに地下水位を把握	
令和9年3月	調査で得られたデータを反映し、「はだの水循環モデル」の更新を行うとともに、かながわ水源環境保全・再生施策の総括を行う	
令和9年度以降	県の新たな基本計画及び実行5か年計画に基づき、地下水モニタリング事業を継続し、得られた知見を地下水の保全及び適正な利活用に反映する。	

神奈川県水源環境保全・再生市町村補助事業

地下水モニタリング事業

2026年7月2日(木)
環境共生課

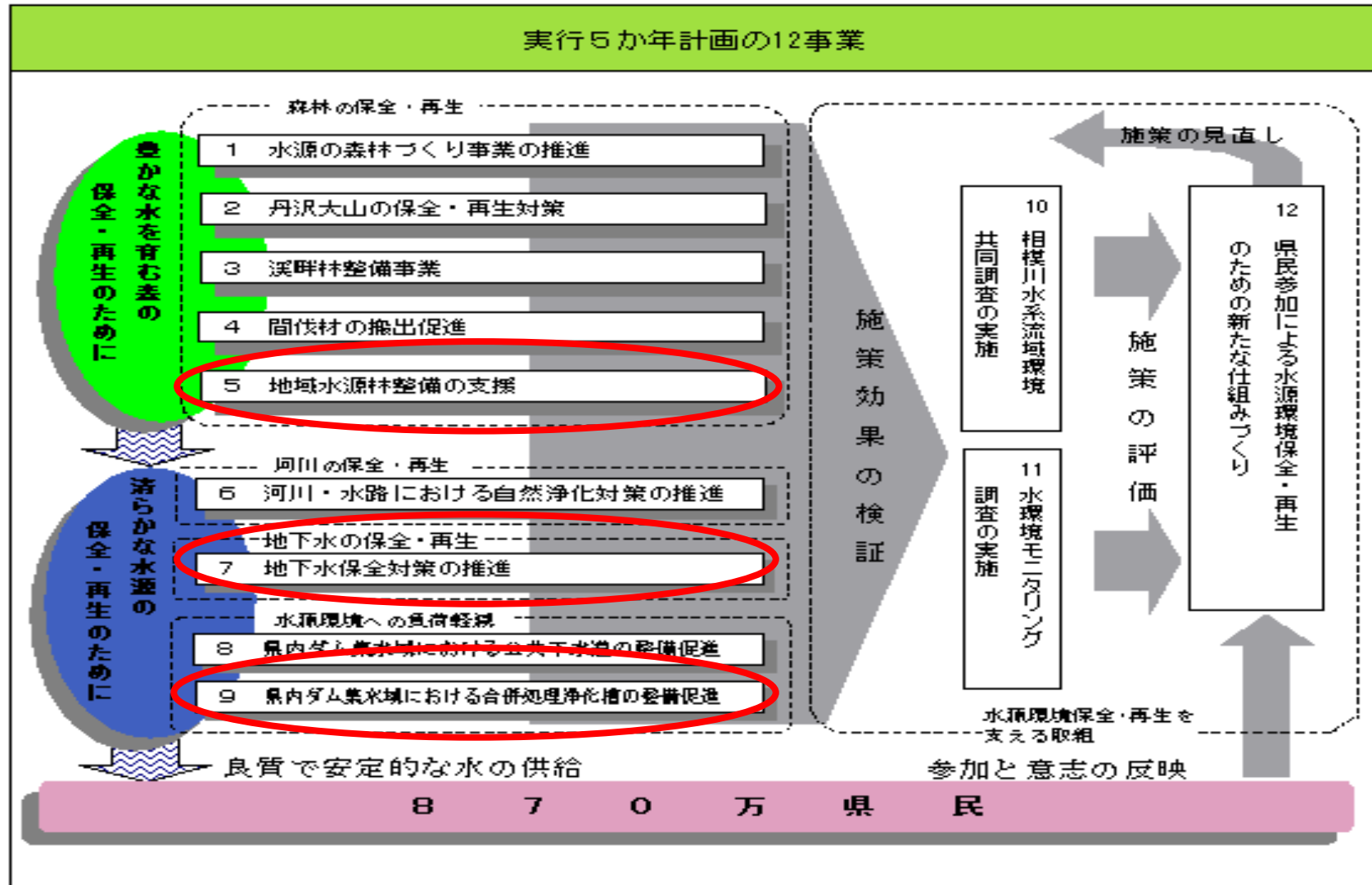


2007(平成19)年度 水源環境保全税を財源とした
水源環境保全・再生事業開始

2010(平成22)年度 GISデータによる3次元地下構
造立体モデル

2011(平成23)年度 第2期地下水総合保全管理計画

かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画

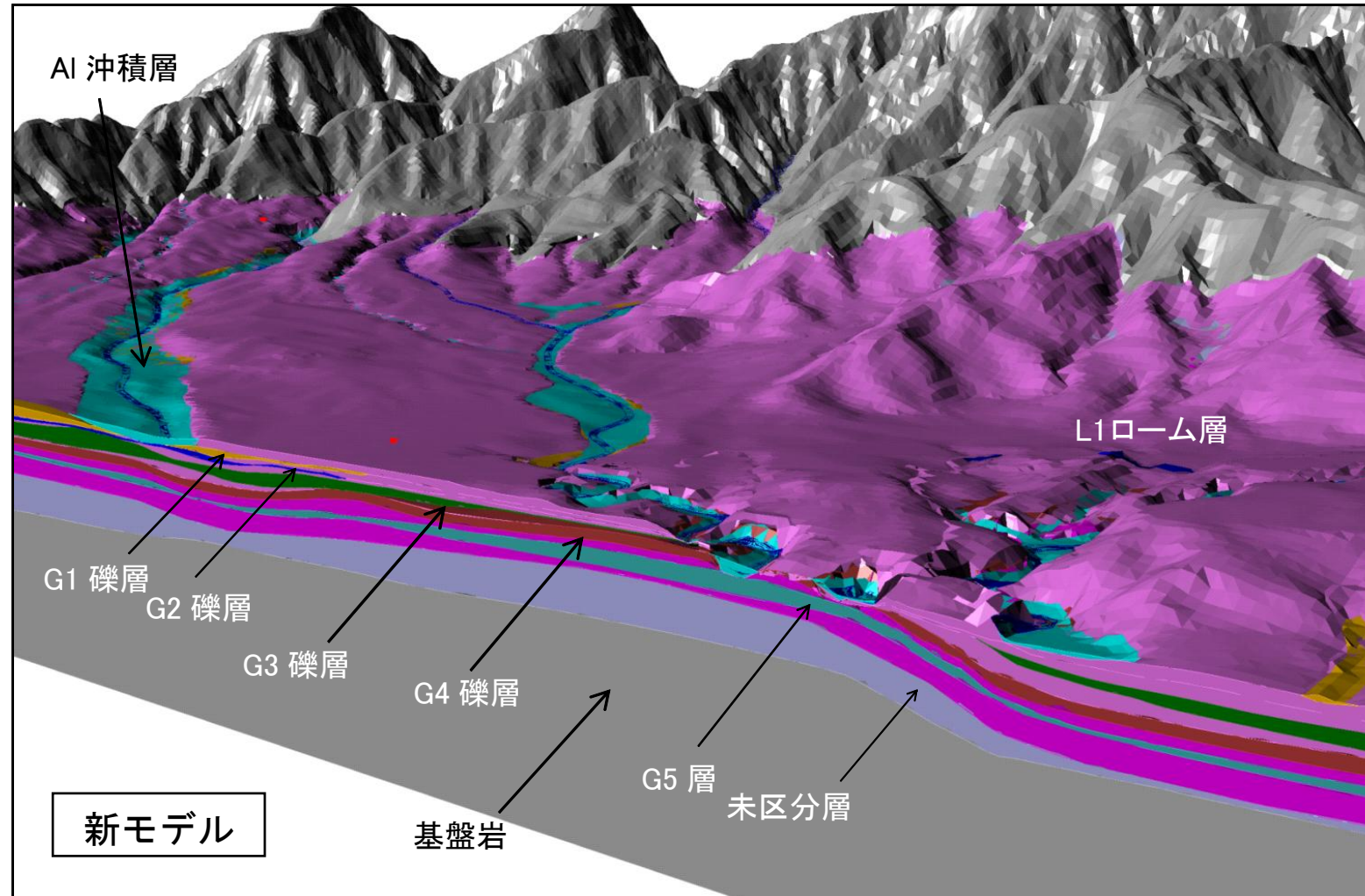


2007(平成19)年度 水源環境保全税を財源とした
水源環境保全・再生事業開始

2010(平成22)年度 GISデータによる3次元地下構
造立体モデル

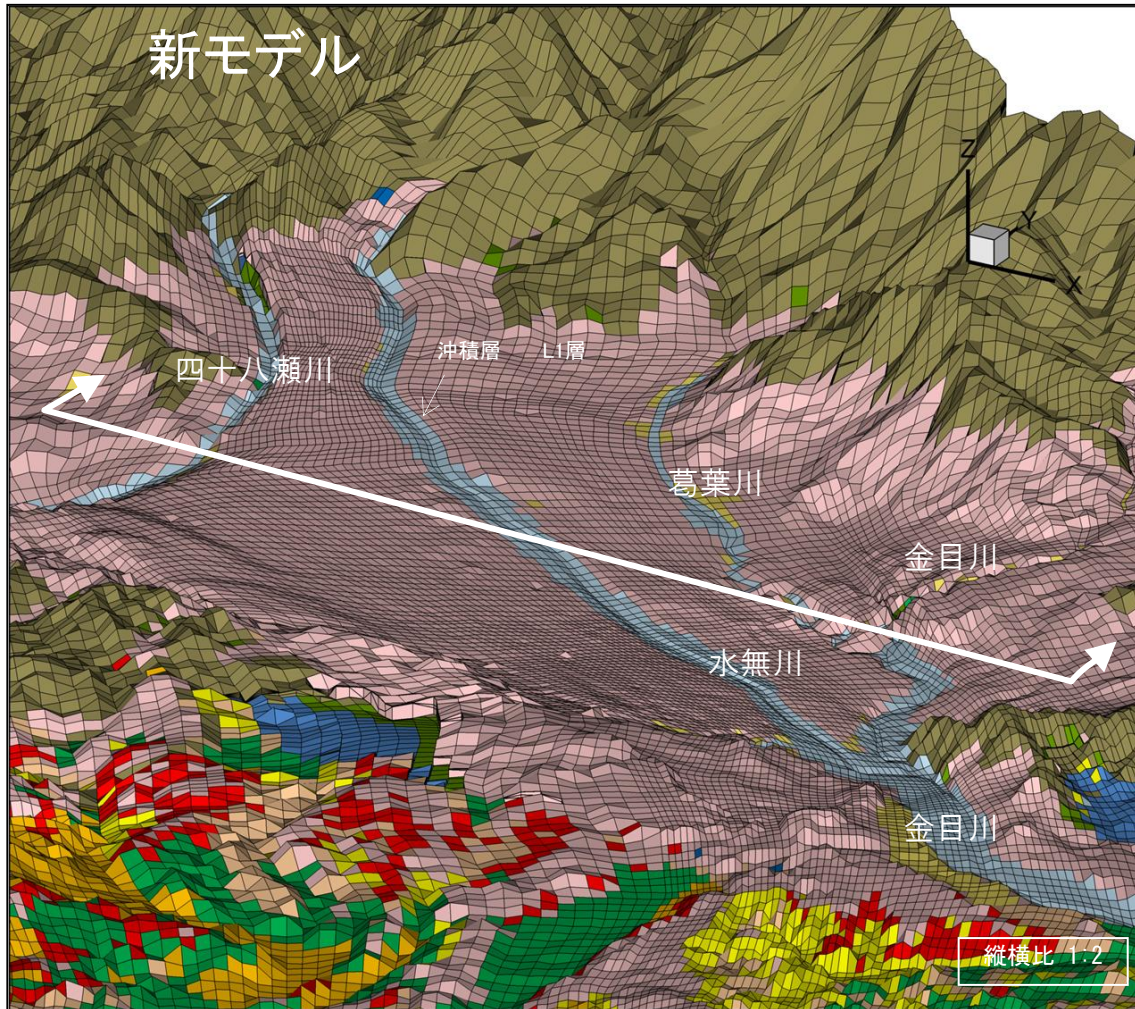
2011(平成23)年度 第2期地下水総合保全管理計画

地理情報システム（GIS）による3次元モデル

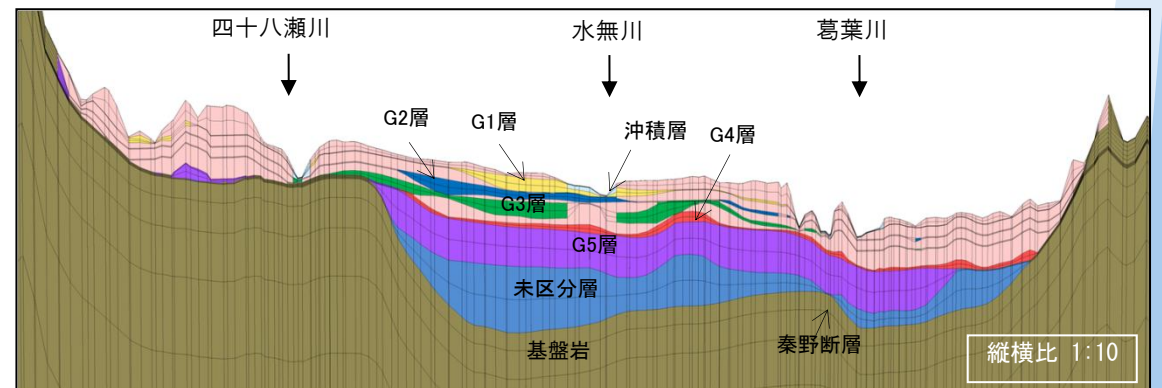
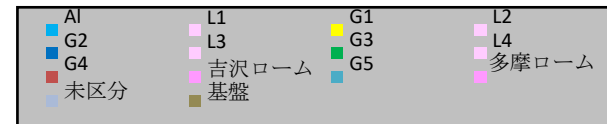


2007(平成19)年度	水源環境保全税を財源とした 水源環境保全・再生事業開始
2010(平成22)年度	GISデータによる3次元地下構 造立体モデル
2011(平成23)年度	第2期地下水総合保全管理計画

第2期 地下水総合保全管理計画



地下水賦存量
2億8千万トン



2017(平成29)年度 長尺ボーリング①
(カルチャーパーク 300m)

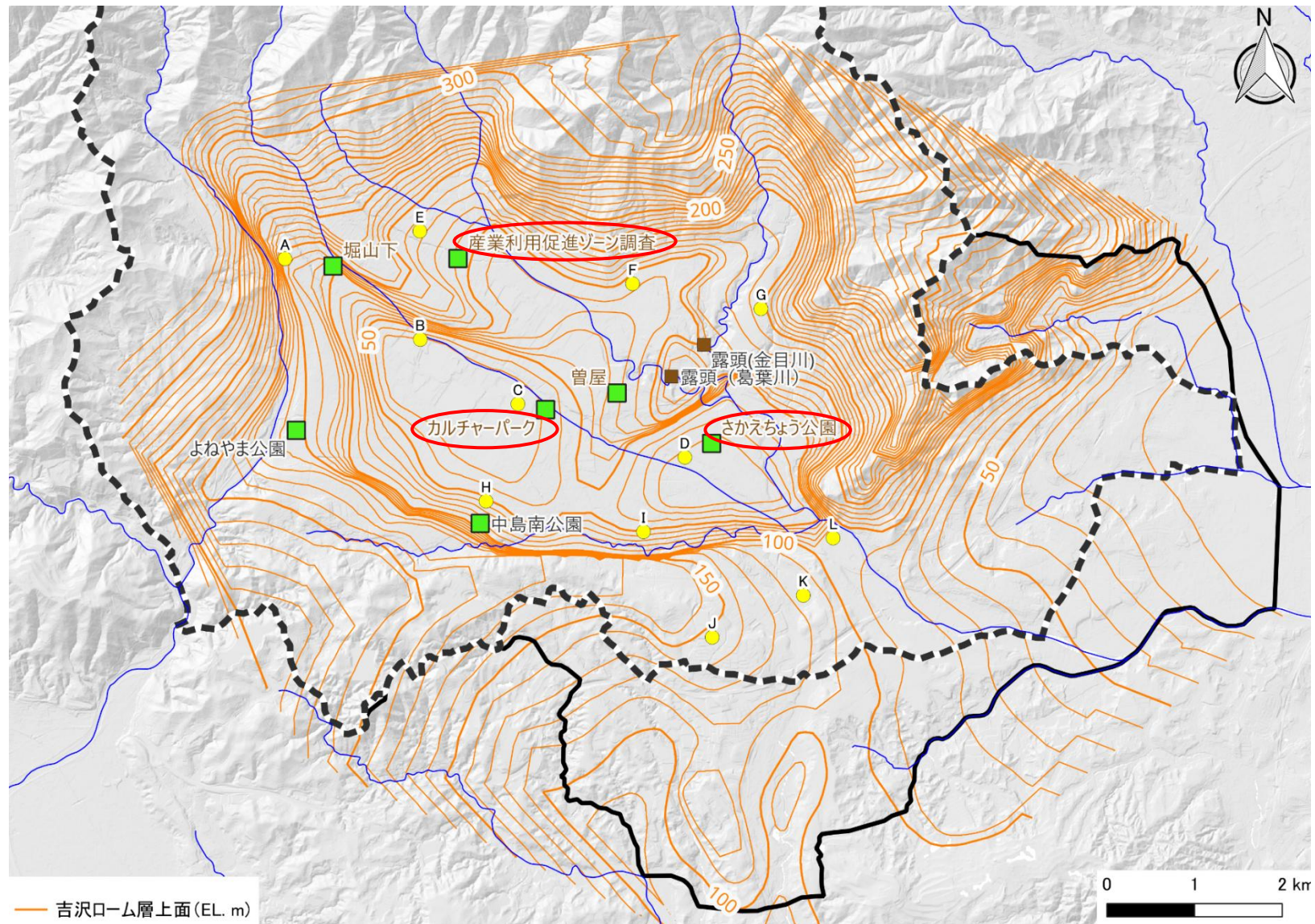
2018(平成30)年度 長尺ボーリング②
(さかえちょう公園 158m)

2018-19(H30.R元)年度 微動アレイ探査 (7.5地点)

2019(令和元)年度 水源調査ボーリング (産業利用
促進ゾーン 170m)

2021(令和3)年度 第3期地下水総合保全管理計画

長尺ボーリング（オールコア）



2017(平成29)年度 長尺ボーリング①
(カルチャーパーク 300m)

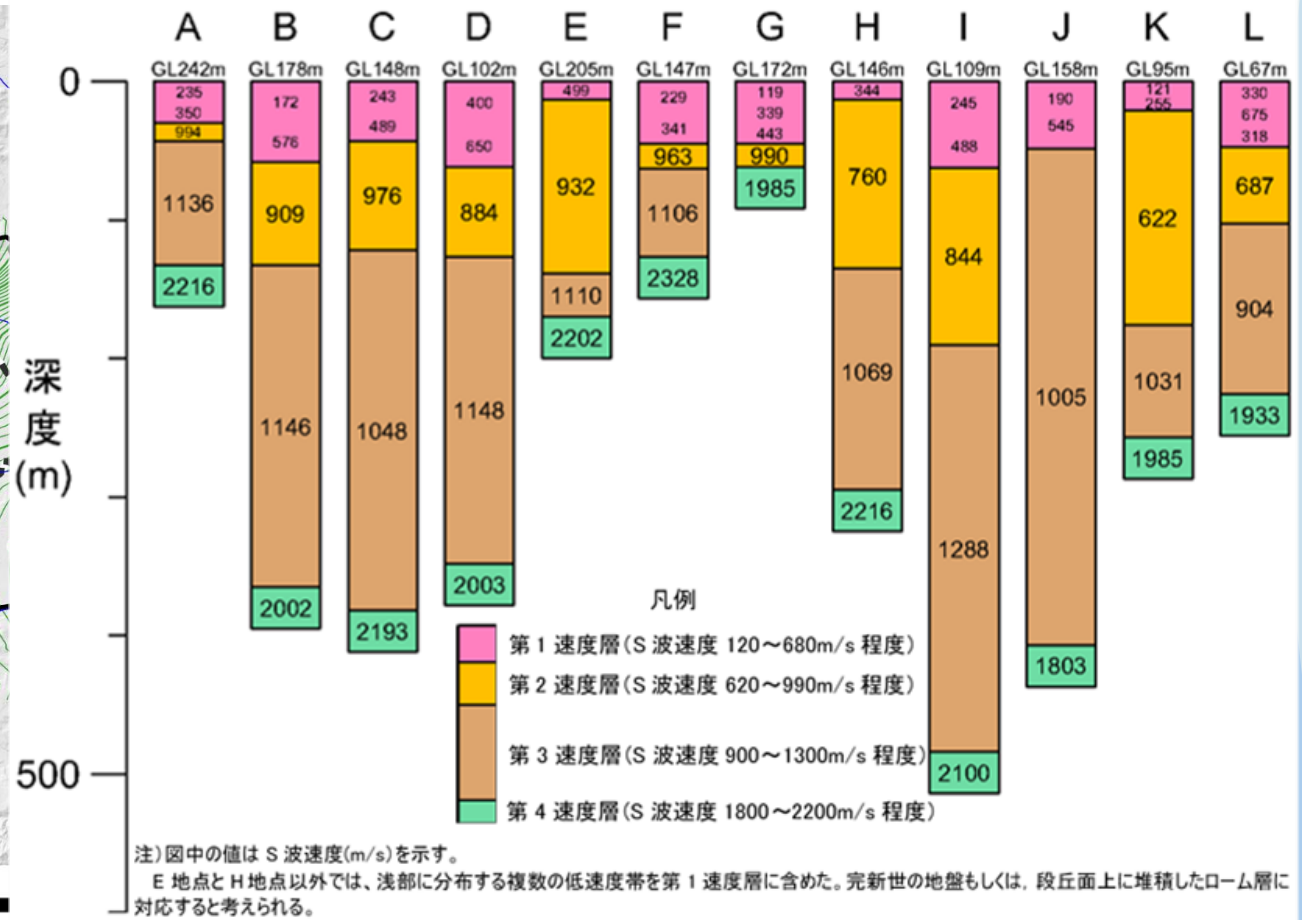
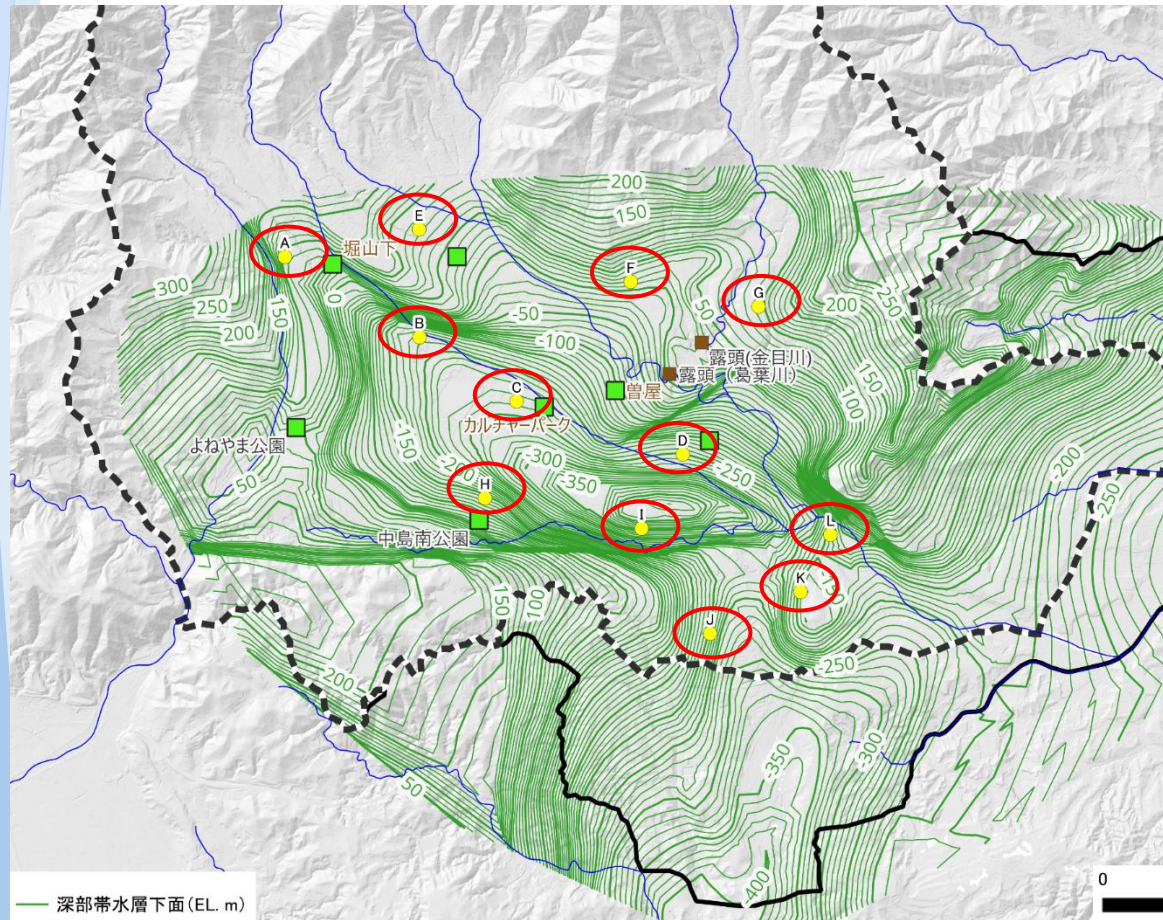
2018(平成30)年度 長尺ボーリング②
(さかえちょう公園 158m)

2018-19(H30.R元)年度 微動アレイ探査 (7.5地点)

2019(令和元)年度 水源調査ボーリング (産業利用
促進ゾーン 170m)

2021(令和3)年度 第3期地下水総合保全管理計画

微動アレイ探査



2017(平成29)年度 長尺ボーリング①
(カルチャーパーク 300m)

2018(平成30)年度 長尺ボーリング②
(さかえちょう公園 158m)

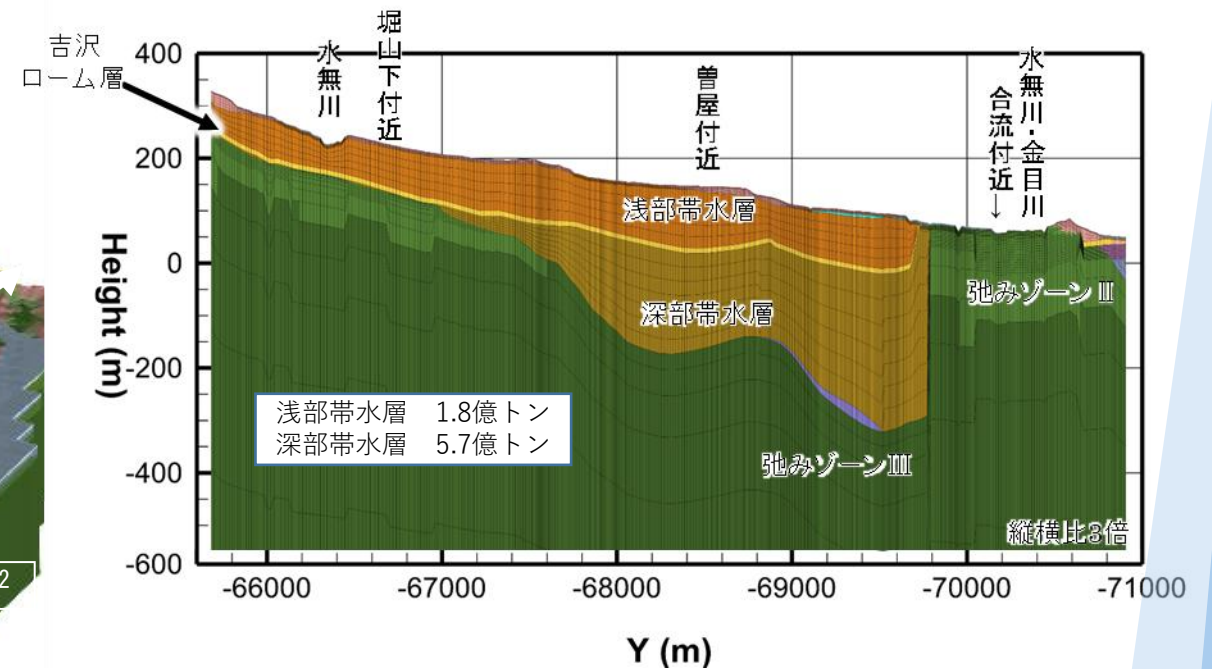
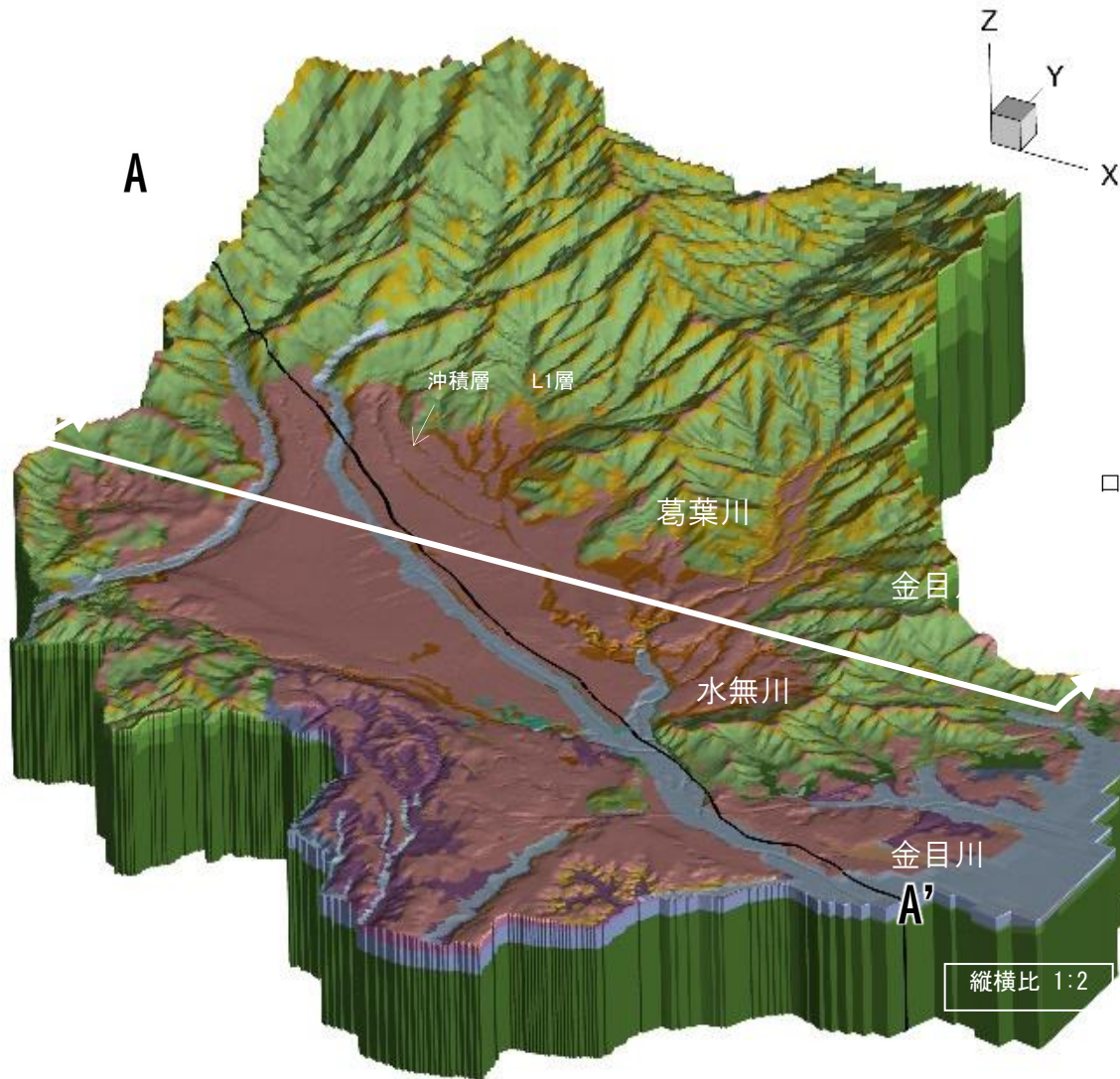
2018-19(H30.R元)年度 微動アレイ探査 (7.5地点)

2019(令和元)年度 水源調査ボーリング (産業利用
促進ゾーン 170m)

2021(令和3)年度 第3期地下水総合保全管理計画

第3期 地下水総合保全管理計画

地下水賦存量
7億5千万トン



2023(令和5)年度

長尺ボーリング③
(県秦野貯木場 124m)

2024(令和6)年度

長尺ボーリング④
(なかじま南公園 110m)

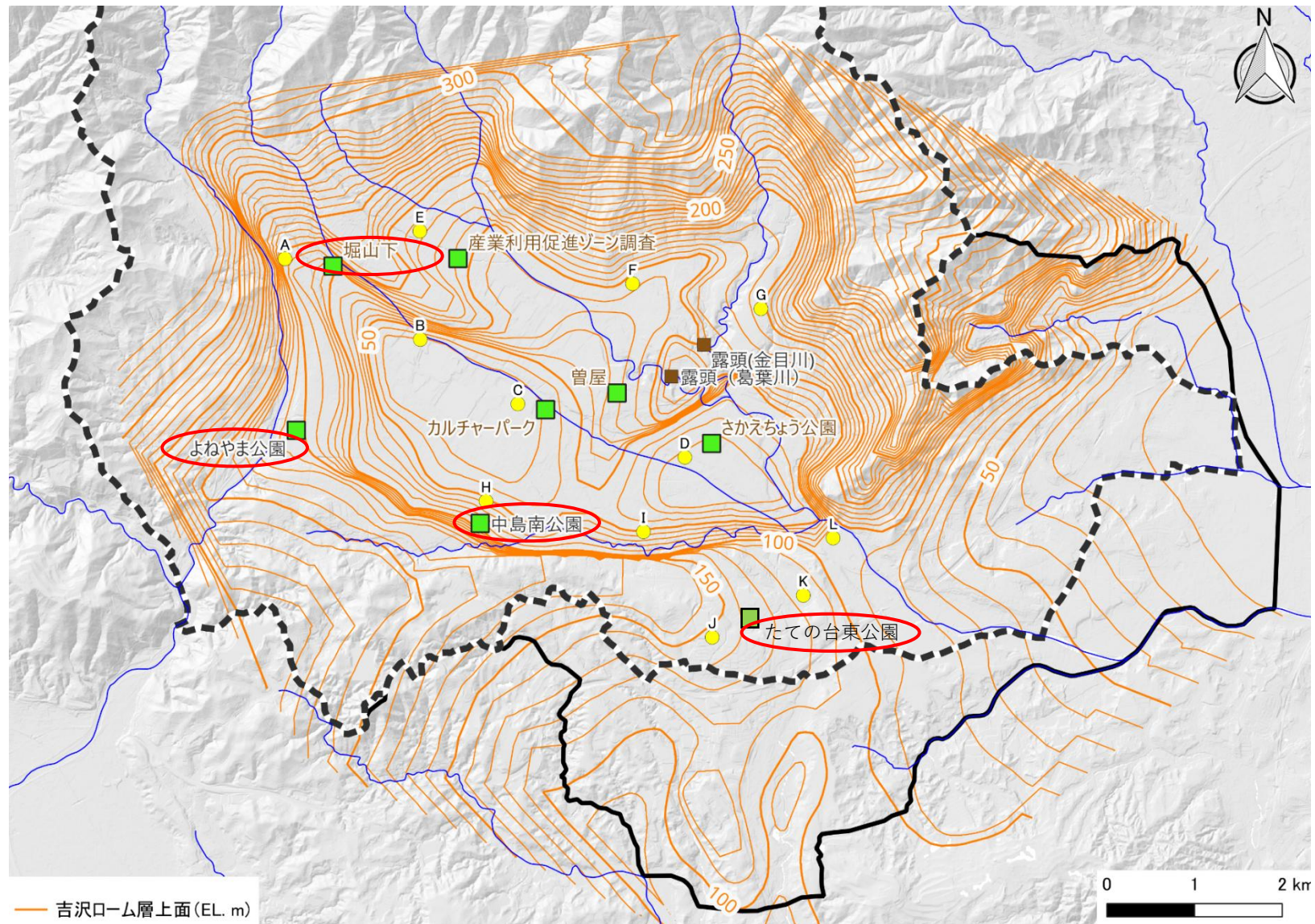
2025(令和7)年度

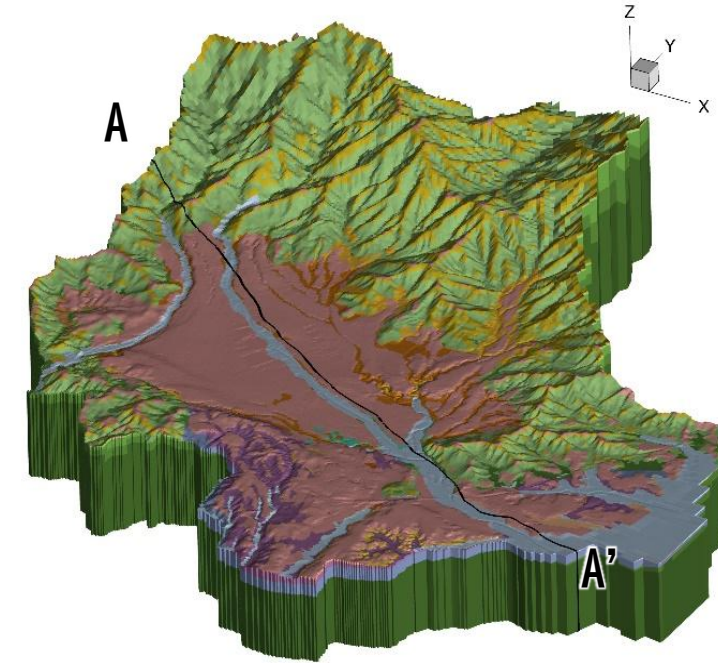
長尺ボーリング⑤
(よねやま公園 158m)

2026(令和8)年度

長尺ボーリング⑥
(たての台東公園 150m)

長尺ボーリング（オールコア）

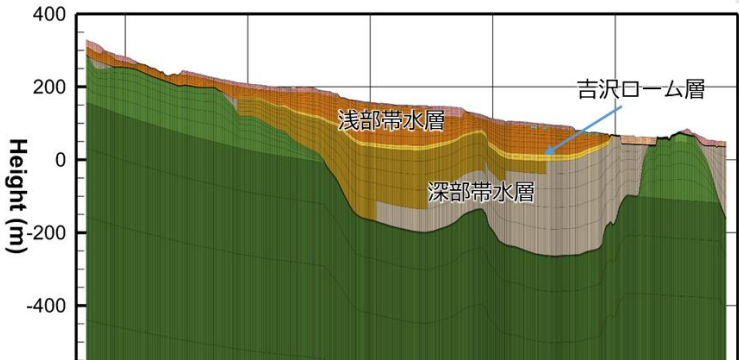
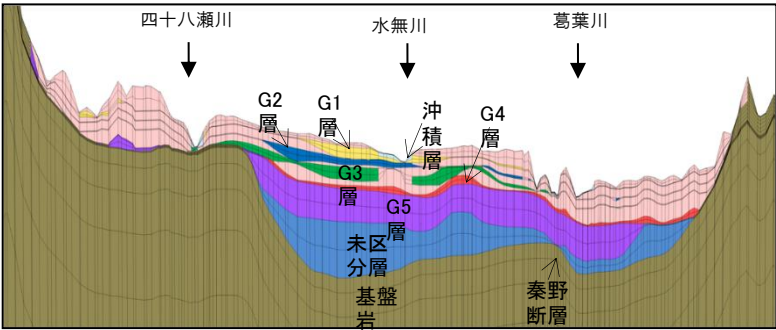
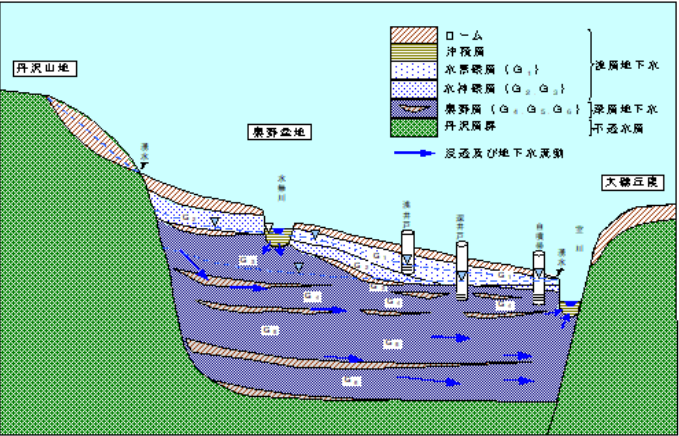
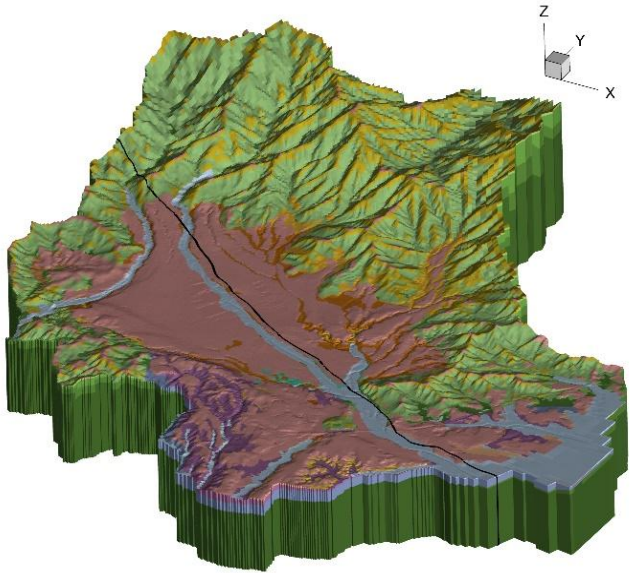
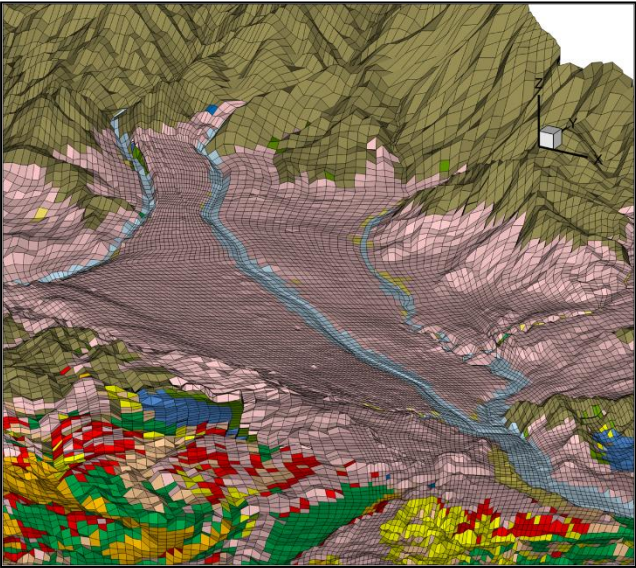
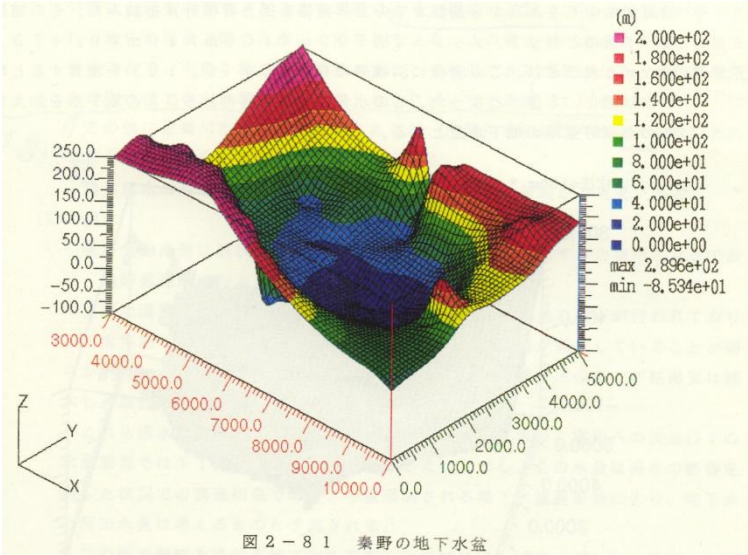




- 堀山下では、吉沢ロームの直下に岩盤が分布する。
- 吉沢ローム層は上流では薄く、盆地中央で厚い。

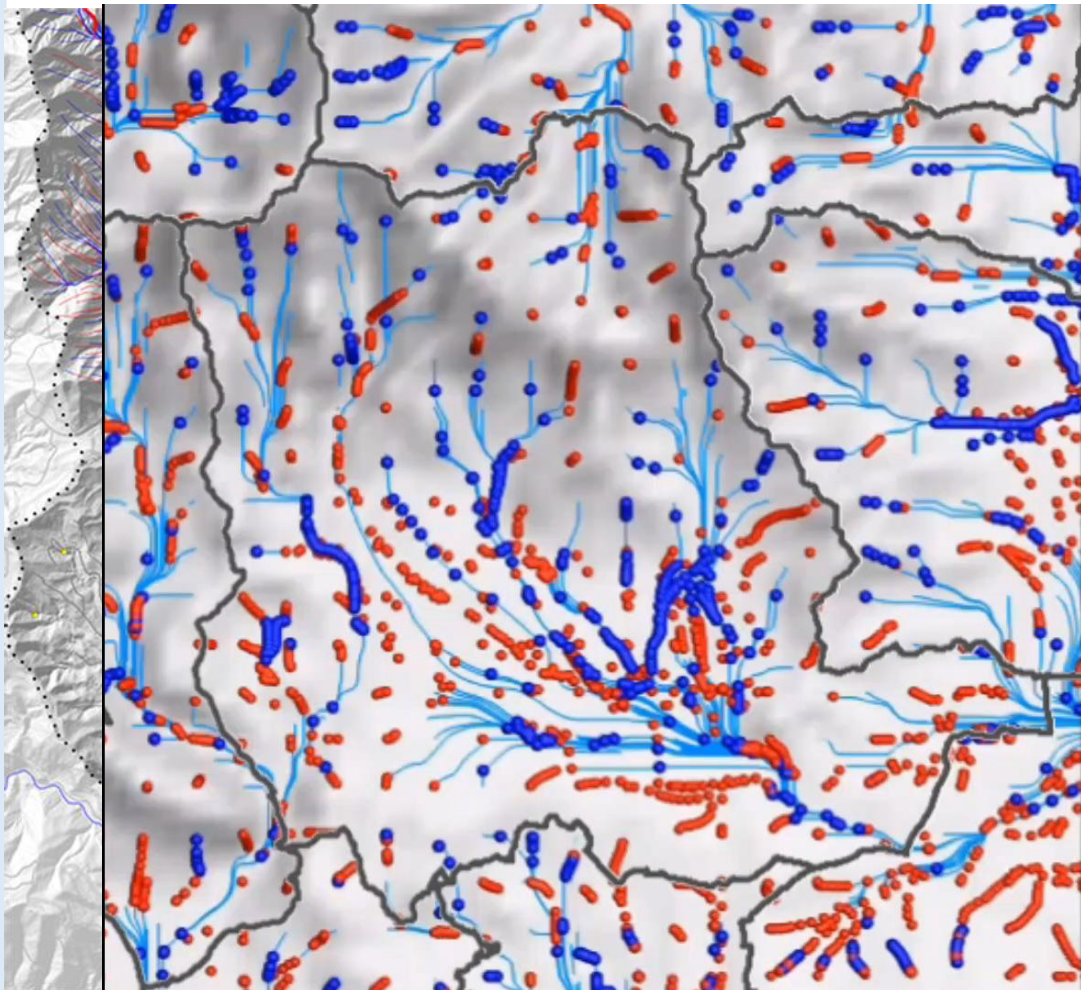
天然の水がめモデルの変遷

2003年 第1期地下水総合保全管理計画 約3億 m^3 2011年 第2期地下水総合保全管理計画 約2.8億 m^3 2021年 第3期地下水総合保全管理計画 約7.5億 m^3

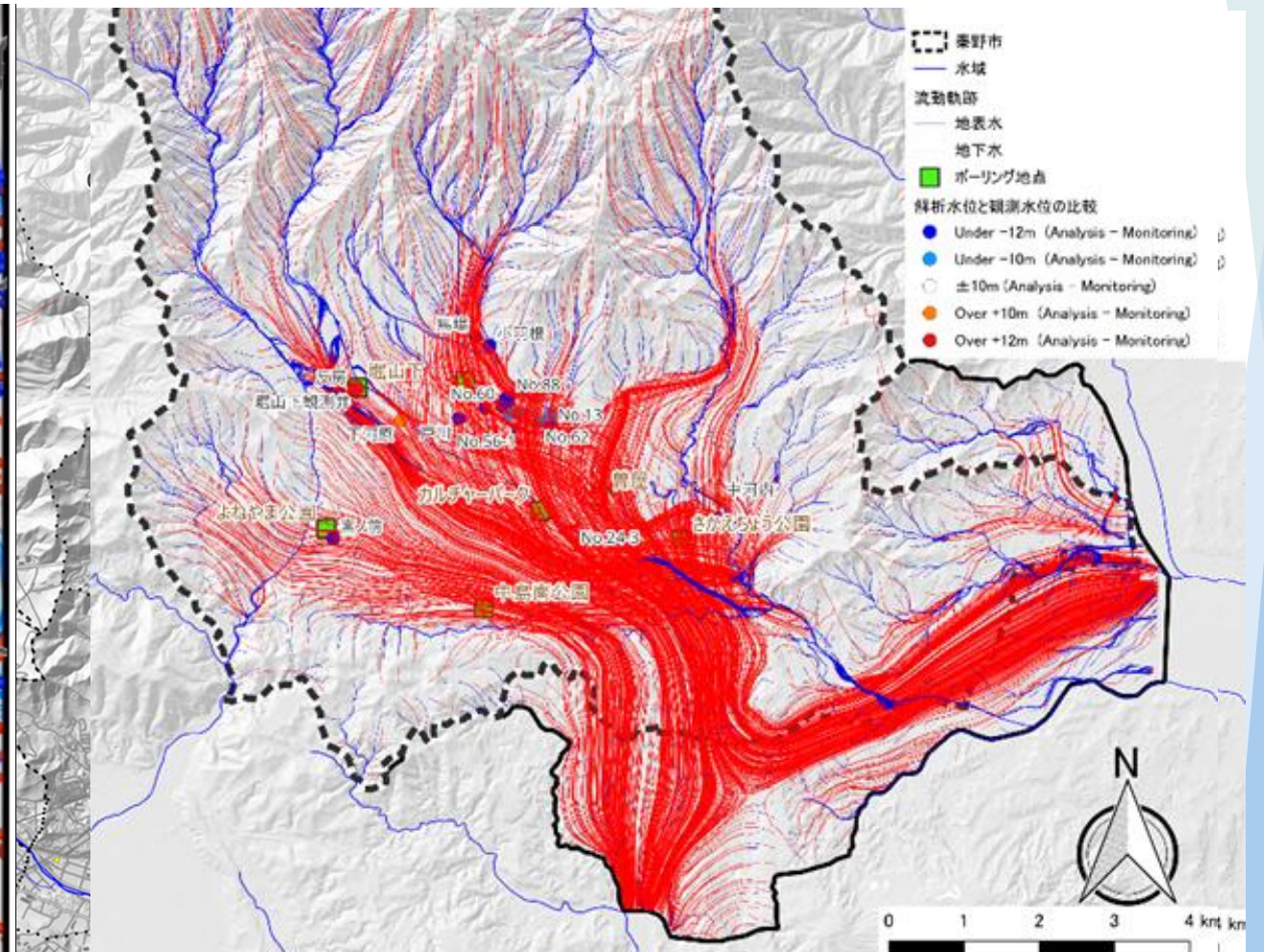


地下水流線図（深部帯水層）

R2モデル



R7モデル



● 地表水 約1万倍速（3時間/秒）
 ● 地下水 約1000万倍速（116日/秒）

平成28年度神奈川県地域エネルギー課「地中熱導入可能性調査事業」
 データを用いて作成（県温泉地学研究所）

地下水ガバナンス

▶ 地下水ガバナンスとは（概念）

公民産学の多元的な主体が連携して、地下水資源の管理や利用に関わる公共問題の解決を担う、プロセス全体をいう。

▶ 地下水マネジメントとは（管理手法）

持続可能な地下水の質と量の保全管理の手法。

▶ 秦野市の地下水ガバナンス

① 情報・知識・科学

地質、地形、地下水位、河川流量、はだの水循環モデル、水収支

② 政策・計画・目標

地下水総合保全管理計画、監視基準井戸（警戒水位）、浄化目標値

③ 法・規制・制度の枠組み

水循環基本法、地下水保全条例、地下水利用協力金、秦野名水利活用指針

④ 主体（ステークホルダー）

使う名人、守る名人、育てる名人、伝える名人

かながわ水源環境保全・再生基本計画



施策体系

(大柱)	(中柱)	(小柱)
水源環境の公益的機能を維持・発揮する取組	1 森林関係事業	1 土壌保全対策の推進
		2 丹沢大山の保全・再生対策
		3 手入れを要する水源林整備（県）
		4 手入れを要する水源林整備（市町村）
		5 整備後に返還した水源林等の機能維持
		6 多様な林齢構成となる人工林整備
水源環境保全・再生を支える取組	2 水関係事業	7 河川・水路の環境整備
		8 地下水の保全対策
		9 生活排水処理施設の整備
	3 水源環境保全・再生を支える活動	10 都市部住民との交流・市民事業等の推進
		11 県外上流域との協働
		12 水源環境モニタリングの実施
水源環境保全・再生を支える取組	4 水源環境保全・再生を推進する仕組み	13 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み

地下水モニタリング事業

	検討項目
1	水循環モデルの高度化 ・長尺ボーリング
2	水資源情報広報ツールの高度化 ・水資源保全管理ダッシュボード ・水資源情報公開サイト
3	非常時（災害時）の地下水利用
4	地下水汚染対策の検討

地下水モニタリング事業

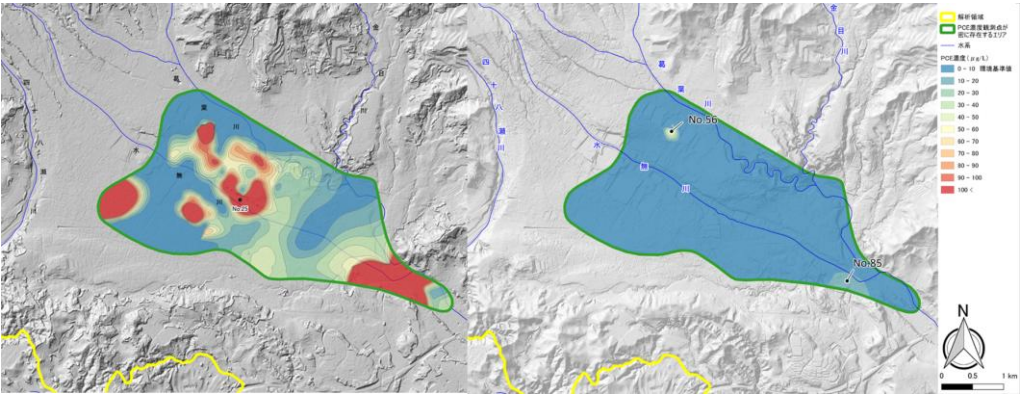


地下水汚染対策

水資源情報公開サイト

平成8年（1996年）

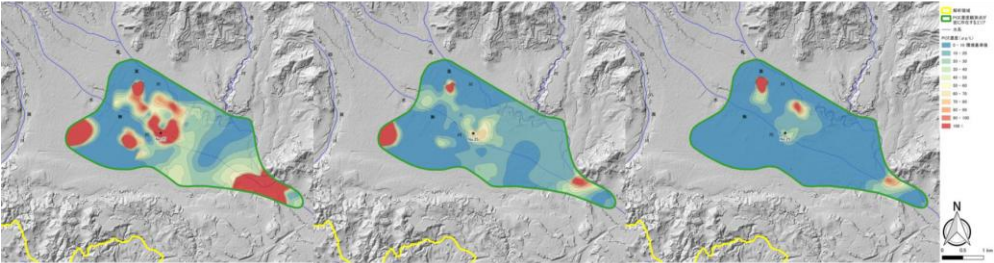
令和5年（2023年）



平成8年（1996年）

平成12年（2000年）

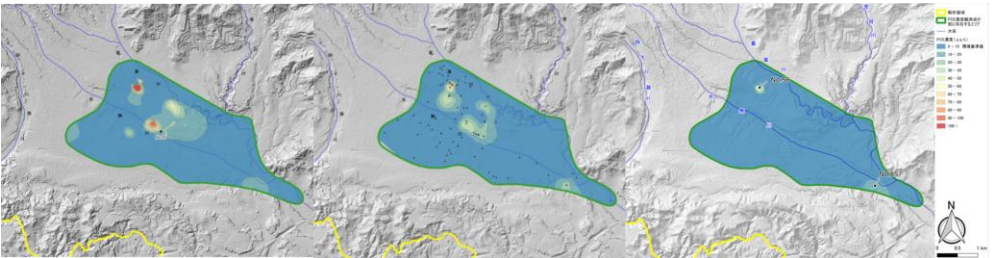
平成16年（2004年）

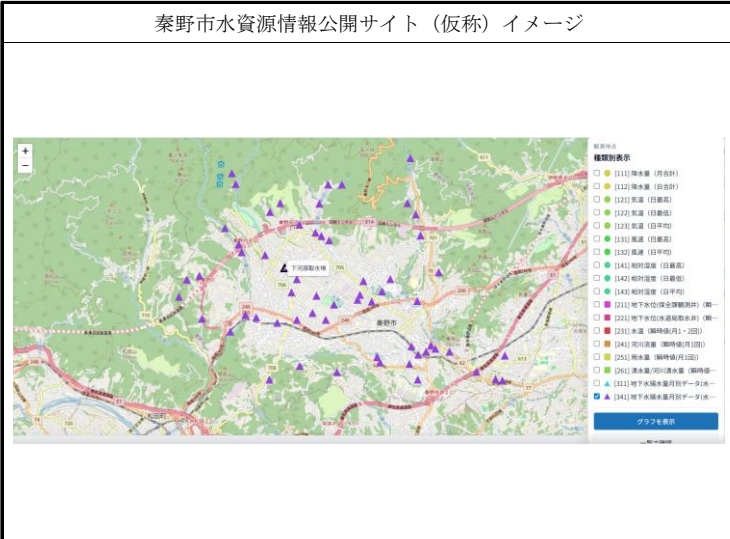
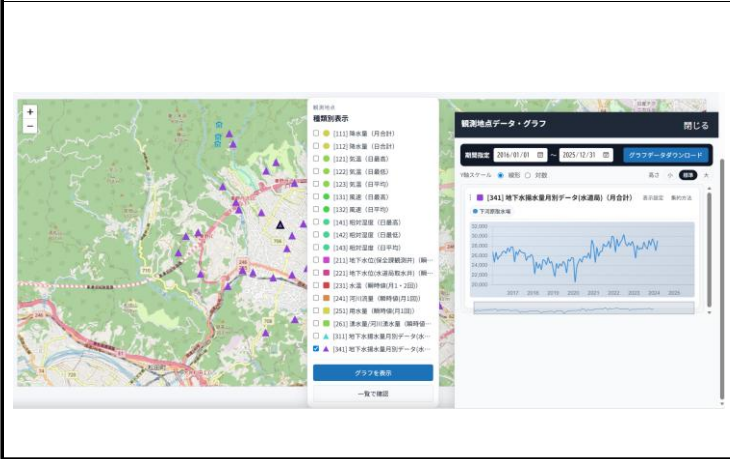


平成20年（2008年）

平成28年（2016年）

令和5年（2023年）



秦野市水資源情報公開サイト（仮称）イメージ	備考
	データ項目の表示と選択画面
	地点選択とグラフ表示 データのダウンロードも可能である。

第10回 秦野名水フェスティバル



● 8月1日（土）水の日に**文化会館**で開催！



おさかなソングや
クイズを楽しもう！

さかなのおにいさん
かわちゃん

かき氷早食い大会も
あるかも・・・



「名水」を使った
美味しい食べ物！

水鉄砲大会！



消防団と
放水体験！

科学実験！



水族館！

会場でぼくと
あくしゅ！

